

市長が掲げた重点政策進捗状況管理表
(令和7年度上半期まで)

市長が掲げた重点政策 一覧

- 1 18歳までの医療費完全無料化
- 2 小・中学校の給食費無料化
- 3 保育料第2子以降無料化
- 4 小・中学校の修学旅行無料化
- 5 遊び場利用料親子とも無料化
- 6 おむつ満1歳までの無料化&宅配(子育て相談員が定期訪問)
- 7 中核市に移行
- 8 高齢者・障がい者への活動助成
- 9 市内全小・中学校の体育館にエアコン設置
- 10 市長タウンミーティングの毎月開催
- 11 市長給与の3割カット
- 12 保育園の新設、育休退園制度の廃止、待機児童の解消
- 13 幼稚園・保育園にかかわらず、お子さんの一時預かりを可能とする政策の促進
- 14 PTA・子ども育成会などの活動における負担軽減を支援
- 15 いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現
- 16 市内小・中学校の防犯対策強化
- 17 学校給食に所沢の食材の利用促進
- 18 普通教室・体育館に加え、特別教室、武道場にもエアコンを設置
- 19 70歳以上の方のところバス、ところワゴン無料化
- 20 ゴミ有料化反対
- 21 ふるさと納税の活用
- 22 都市計画区域の積極的見直し
- 23 中小零細企業、農業振興への活性化支援、担い手不足対策
- 24 旧市役所庁舎、文化会館跡地の有効活用
- 25 所沢市の歴史・文化などの保管できる場所の設置
- 26 地域包括支援センターの充実・強化
- 27 シルバー人材センターを活用した市の活性化策の実現
- 28 農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進
- 29 図書館・市立小・中学校の図書館充実
- 30 所沢イレブン会議の設置
- 31 透明性が高く、市民が主役のまちをつくる
- 32 医療分野における人権侵害の徹底排除
- 33 期日前投票所の増大
- 34 災害に強いまちの実現
- 35 健康都市・日本一に向けた政策の実現
- 36 ゼロカーボンシティの推進、SDGs未来都市に
- 37 所沢の魅力が強力に発信、観光客を呼び込む
- 38 地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用
- 39 地域課題解決のため、市内にある高等教育機関(早稲田大学など)との協力・連携
- 40 国立障害者リハビリテーションセンターとの協力・連携強化
- 41 西武鉄道、埼玉西武ライオンズとの協力・連携強化
- 42 地下鉄大江戸線の東所沢までの延伸
- 43 西所沢駅西口改札口開設
- 44 所沢市民文化センターミュージズの活用拡大 音楽の聖地化計画
- 45 「新所沢パルコ」撤退問題に関する統括専門部署の設置
- 46 所沢市独自の保健所を設置

達成中

又は

実施中

42項目(91.3%)

検討中

4項目(8.7%)

未着手

無し

市長が掲げた重点政策進捗状況管理表の見方

※令和7年度から様式を変更しました

市長が掲げた重点政策名。
目次と対応しています。

重点政策に対応した具体的取組。
1つの重点政策に対して複数の取組があるものもあります。
文末の()は所管課を表しています。

重点政策・取組に対する進捗状況。以下の3項目に分かれています。
【検討中】【実施中】【達成中】
※複数の取組がある重点政策については、全体の進捗状況を記載しています。
※詳細は次ページをご覧ください。

1 18歳までの医療費完全無料化



取組① 子ども医療費助成の対象児童の年齢を、中学校3年生まで(15歳に達した日の属する年度の末日まで)から高校3年生まで(18歳に達した日の属する年度の末日まで)に拡大する(こども支援課)



令和5年度		令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)		上半期	下半期	上半期	下半期
<p>【パブリックコメントの実施】 (募集期間) 令和5年11月12日～令和5年12月21日 【条例改正】 令和6年第1回定例会にて可決。年齢拡大に際し、条例の整備を完了した。併せて、条例施行規則についても整備を行った。</p>		<p>制度の周知について、広報誌やホームページ、インターネット媒体等で広く行い、また、対象者への個別通知により申請を促した。 令和6年10月の実施に向け、対象者(0～18歳)に対し、令和6年9月下旬に受給者証の送付を行った。</p>	<p>達成中</p>		

半期ごとの取組状況。
「取組」に対する具体的な実績や進捗です。

進捗状況について

1 18歳までの医療費完全無料化

取組① 子ども医療費助成の対象児童の年齢を、中学校3年生まで(15歳に達した日の属する年度の末日まで)から高校3年生まで(18歳に達した日の属する年度の末日まで)に拡大する(こども支援課)

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>【パブリックコメントの実施】 (募集期間) 令和5年11月12日～令和5年12月21日 【条例改正】 令和6年第1回定例会にて可決された。年齢拡大に際し、条例の整備を完了した。併せて、条例施行規則についても整備を行った。</p>	<p>制度の周知について、広報誌やホームページ、インターネット媒体等で広く行い、また、対象者への個別通知により申請を促した。 令和6年10月の実施に向け、対象者(0～18歳)に対し、令和6年9月下旬に受給者証の送付を行った。</p>	<p>達成中</p>		

R5 R6 R7

検討中 達成中

R5 R6 R7

検討中 達成中

達成中

成果が明確な重点政策が実現した状態です。

実施中

以下のいずれかの状態です。

- ① 市の方向性を示す重点政策において、具体的な施策を実施している
- ② 成果が明確な重点政策の実現に向けて、具体的に着手・進行している

検討中

検討を進めている状態です。

市長が掲げた重点政策進捗状況管理表(令和7年度上半期まで)

1 18歳までの医療費完全無料化

R5 R6 R7

検討中 達成中

取組① 子ども医療費助成の対象児童の年齢を、中学校3年生まで(15歳に達した日の属する年度の末日まで)から高校3年生まで(18歳に達した日の属する年度の末日まで)に拡大する(こども支援課)

R5 R6 R7

検討中 達成中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>【パブリックコメントの実施】 (募集期間) 令和5年11月12日～令和5年12月21日 【条例改正】 令和6年第1回定例会にて可決された。年齢拡大に際し、条例の整備を完了した。併せて、条例施行規則についても整備を行った。</p>	<p>制度の周知について、広報誌やホームページ、インターネット媒体等で広く行い、また、対象者への個別通知により申請を促した。 令和6年10月の実施に向け、対象者(0～18歳)に対し、令和6年9月下旬に受給者証の送付を行った。</p>	<p>達成中</p> <p>令和6年10月診療分から、対象年齢を18歳まで拡大した。</p>		

2 小・中学校の給食費無料化

R5 R6 R7

達成中

取組① エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯の負担軽減を図るため、学校給食費の保護者負担分を無料とする(保健給食課)

R5 R6 R7

達成中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>令和5年第4回定例会に補正予算を議案提出した。 令和6年1月から3月の学校給食費の保護者負担分を無料とした。</p>	<p>令和6年4月より学校給食費の保護者負担分を無料とした。</p>	<p>達成中</p>		

3 保育料第2子以降無料化

R5 R6 R7

検討中

取組① 保育園等に在園する0-2歳児クラス児童について、第2子にかかる保育料を無料とする(保育幼稚園課)

R5 R6 R7

検討中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和5年度在園児における実績に基づき、試算を行った。システム上での処理について運用の検討を行った。	システム上での処理について運用の検討を行った。	規則・システム上での処理を含む運用等について検討を行った。併せて、令和6年度在園児における実績に基づき試算を行った。試算結果より、相応の予算が必要であることから、実施開始時期については財政状況及び保育料に関する国の動向を注視する。	令和7年度在園児における実績に基づき試算を行った。試算結果より、相応の予算が必要であることから、実施開始時期については財政状況及び保育料に関する国の動向を注視する。	

4 小・中学校の修学旅行無料化

R5 R6 R7

検討中

取組① 小・中学校の修学旅行を無料化する(学校教育課・教育総務課)

R5 R6 R7

検討中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
調整中	調整中	教育委員会管理職による会議にて、修学旅行無料化に関する検討を行った。	財源、運用を含め、令和8年度の実施を目的に具体的な検討や準備を進めた。	

5 遊び場利用料親子とも無料化

R5 R6 R7

検討中

取組① 北野公園市民プールの使用料について、元々無料である未就学児に加え、小学生、成人の付添人2名までについても無料とする(スポーツ振興課)

R5 R6 R7

検討中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
関連法規を確認し、実施内容を検討した。 他市の状況を調査した。 運用方法を検討した。	使用料を無料とする対象範囲など、令和8年度の実施に向けて運用方法を検討した。	使用料を無料とする対象範囲など、令和8年度の実施に向けて運用方法を検討した。	使用料を無料とする対象範囲など、令和8年度の実施に向けて運用方法など、具体的な検討をした。	

6 おむつ満1歳までの無料化&宅配(子育て相談員が定期訪問)

R5 R6 R7

検討中

実施中

取組① 0歳児のこどもを養育する子育て家庭に対し、おむつ等の育児用品を購入できるよう経済的支援を図るとともに、子育て家庭への訪問等による見守りを行う(~R6:こども政策課、R7:こども家庭センター)

R5 R6 R7

検討中

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和6年度からの事業実施に向け、令和6年度当初予算への計上、事業の仕様構築を行った。	令和6年6月より県のベビーギフト支給事業と連携して事業を開始し、順次、対象者へ子育て家庭向けのデジタルギフトを発送している。併せて、県事業でのギフト宅配時訪問により見守りを行っている。	引き続き、順次、対象者へ子育て家庭向けのデジタルギフトを発送した。 なお、県のベビーギフト支給は令和6年度をもって終了となり、それに伴い、デジタルギフトの支給も終了とする。 次年度以降は、給付金支給による経済的支援と併せて包括的な相談支援を行う妊婦支援給付事業等を実施する予定である。	妊婦支援給付事業として、給付金支給による経済的支援を行うとともに、包括的な相談支援を実施している。 また、新生児訪問や、4か月児健康診査、10か月児健康診査などの機会を捉え、状況の把握に努めている。	

7 中核市に移行

R5 R6 R7
実施中

取組① 県から移譲される権限や国・県から措置される財源等を活かしてさらなる市民サービスの向上を図るため、中核市への移行を目指す(経営企画課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>(三層の会議体からなる)庁内体制を構築するとともに、各会議体での役割分担を確認した。県より提供された川口市の中核市移行時資料をもとに各担当部署へ移譲事務に係る調査依頼を実施した。</p>	<p>中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行の検討を進め、「中核市移行に関する調査報告書」をまとめた上で、令和12年4月に移行を目指すことを表明した。また、保健所整備について情報収集、調査・検討を進め、建設予定地を生涯学習推進センターグラウンドとして対外的に発表し、建設に係る設置基本計画策定及び土地の調査の委託費用を予算化した。移譲事務の調査については、次年度の県との調整に向けて、総務省の移譲事務に関する最新データ等を用いて、関係所属に現在の処理状況等を照会した。</p>	<p>移譲事務の調査については、関係所属の照会結果を取りまとめ、令和7年4月以降の県との調整の準備を進めた。 また、中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行を円滑に進めるための基本的事項をまとめた「中核市移行に関する基本方針」を策定し、令和7年2月7日に公表した。令和7年3月28日には、その基本方針をもって、市長から県知事へ移行に向けた協力要請を行った。 保健所の設置に向けては、関係部による調整会議を中核市準備調整会議と並行して行い、保健所設置の各種条件等について合意形成を進めるとともに、建設用地の地歴調査委託を令和6年10月～令和7年1月にかけて実施し、土壌汚染のおそれなしという結果となった。</p>	<p>移譲事務の調整については、令和7年4月に第1回県・市連絡会議を開催し、市で調査した法定移譲事務の一覧を県に提出した。その一覧を県で精査し、現在の県の人員体制と併せて年内に回答がある見込みとなっている。 広報については、HPの情報を整理し、ポータルサイト化することで、市民に中核市制度をわかりやすく伝えるように更新し、随時情報を発信している。SNSについては、若年層をターゲットにinstagramにて情報発信できるよう体制づくりを進めている。広報紙の掲載については、移行までの長期的な連載となるため、記事の方向性や戦略を調整している。 中核市移行推進委員会や各専門部会については、移行後の移譲事務の所管や内容、人員や組織の在り方を協議する中で、課題を洗い出しつつ、移行に向けた庁内の調整を図っている。</p>	

8 高齢者・障がい者への活動助成

R5 R6 R7
実施中

取組① 長生クラブ、地域サロン、お達者倶楽部及びトコロん元気百歳体操の実施団体への支援を引き続き行いながら、支援の在り方を検討する(高齢者支援課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
長生クラブ連合会創作品展示会開催に協力した。長生クラブ連合会理事会に参加し、来年度の共催事業について意見交換を行った。	長生クラブと共催で高齢者演芸大会を開催した。今年度は中止となったが、長生クラブと高齢者スポーツ大会の今後の在り方について協議した。	従来の規模での開催が困難となった高齢者スポーツ大会の共催を止め、長生クラブが実施する新たなスポーツ大会を後援していくこととした。長生クラブ連合会が作成した会員募集チラシの広報に協力した。お達者倶楽部の活動支援やトコロん元気百歳体操実施団体への活動支援を実施した。	長生クラブと共催で高齢者演芸大会を開催した。会場選定及び設営・後片付け、プログラム作成、司会、申込事務、来賓対応等の支援を行った。トコロん元気百歳体操については、トコフィット養成講座の開催期間中に、参加者に既存団体への参加を促し、指導者不足の解消に努めた。	/

取組② 障害者の活動助成に資する事業内容及び実施方法について、関係課と連携し調査、分析を進め、効果的な方策を検討し、着実に実施する(障害福祉課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
近隣市の状況やニーズの把握が完了し、事業案を固め終えた。事業案について、次年度以降の実施に向けて要綱改正等の準備を行った。	重度障害者等日常生活用具費支給事業実施要綱において、バッテリー等の品目追加を行うなど、令和6年4月1日付で要綱の一部改正を行った。	重度障害者等日常生活用具費支給事業実施要綱において、各品目支給に対する相談に応じ、適正に支給を実施した(131件)。また、上半期に追加したバッテリー等は18歳以上においては相談及び問い合わせ対応を行った。	重度障害者等日常生活用具費支給事業実施要綱において、各品目支給に対する相談に応じ、適正に支給を実施した(65件、令和7年9月末時点)。また、令和6年度に追加したバッテリー等は18歳以上においては相談及び問い合わせ対応を行った。	/

9 市内全小・中学校の体育館にエアコン設置

R5	R6	R7
	検討中	実施中

取組① 近年の暑さ対策及び、災害発生時の避難所として活用されることを踏まえ、市内全小・中学校の体育館にエアコンを設置する(教育施設課)

R5	R6	R7
	検討中	実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>財政面や利用頻度を考慮し、市内全小・中学校への設置スケジュールを検討した。 エアコン設置に向け、事業の仕様について検討した。</p>	<p>先進事例の視察を行い、全庁的な検討を進めた。</p>	<p>工事に向けた設計に着手することを決定した。まずは中学校7校の設計費を令和7年度当初予算に計上した。 なお、全小・中学校への設置に向け、中学校への設置完了後、小学校への設置を順次進めていく予定である。</p>	<p>中学校7校の設計に着手し、エアコンの能力や設置位置などの検討を行い設計を進めた。</p>	/

10 市長タウンミーティングの毎月開催

R5	R6	R7
達成中		

取組① 市長が市政全般について、市民の意見や思いを伺うため開催する(市民相談課)

R5	R6	R7
達成中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
達成中				
【開催実績】 ①令和5年11月26日 テーマ「子ども・子育て」・参加者数182名 ②令和5年12月23日 テーマ「高齢者」・参加者数約300名 ③令和6年1月28日 テーマ「障害者」・参加者数213名 ④令和6年2月10日 テーマ「防災」・参加者数145名 ⑤令和6年3月27日 テーマ「みどり・自然」・参加者数73名	【開催実績】 ①令和6年4月20日 テーマ「産業振興」・参加者数62名 ②令和6年5月18日 テーマ「まちづくり」・参加者数132名 ③令和6年6月9日 テーマ「健康・医療」・参加者数91名 ④令和6年7月20日 テーマ「文化・芸術」・参加者数100名 ⑤令和6年8月18日 テーマ「平和・基地返還」・参加者数105名 ⑥令和6年9月7日 テーマ「農業」・参加者数82名	【開催実績】 ①令和6年10月5日 テーマ「自治会・町内会」・参加者数84名 ②令和6年11月9日 テーマ「三ヶ島地区のまちづくり」・参加者数71名 ③令和6年12月8日 テーマ「柳瀬地区のまちづくり」・参加者数45名 ④令和7年1月18日 テーマ「富岡地区のまちづくり」・参加者数56名 ⑤令和7年2月15日 テーマ「小手指地区のまちづくり」・参加者数76名 ⑥令和7年3月9日 テーマ「松井地区のまちづくり」・参加者数69名	【開催実績】 ①令和7年4月19日 テーマ「山口地区のまちづくり」・参加者数74名 ②令和7年5月17日 テーマ「並木地区のまちづくり」・参加者数52名 ③令和7年6月7日 テーマ「吾妻地区のまちづくり」・参加者数93名 ④令和7年7月5日 テーマ「新所沢東地区のまちづくり」・参加者数59名 ⑤令和7年8月9日 テーマ「新所沢地区のまちづくり」・参加者数107名 ⑥令和7年9月6日 テーマ「所沢地区のまちづくり」・参加者数37名	/

11 市長給与の3割カット

R5 R6 R7

達成中

取組① 市長任期満了(令和9年10月29日)までの間、市長給与を3割カットする(職員課)

R5 R6 R7

達成中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
達成中				
令和5年12月議会において、特例条例を議会提出し、議決を得た。				

12 保育園の新設、育休退園制度の廃止、待機児童の解消

R5 R6 R7

実施中


取組① 就学前児童の保育に係る待機児童を解消するため、子ども・子育て支援事業計画に基づき、既存施設の活用や保育所等の新設により、必要な受入枠を確保する(こども政策課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
保育施設の現年度整備分について埼玉県に認定申請を行うとともに、事業者からの市への申請等を処理した。次年度の施設整備に係る意向調査を実施したうえで、施設整備による確保方策を決定した。	地域型保育事業所1園の開園により受入枠を増加させた(なごみ陽明)。保育需要の分析により今後の確保方策を検討し、子ども・子育て会議へ報告するとともに、意見を聴取した。	既存の保育施設の増改築等により、保育の受入枠を増加させ、認可変更に係る申請等を処理した。次年度の施設整備による確保方策を決定した。	地域型保育事業所1園の開園により受入枠を増加させた(みつばち保育園)。保育需要の分析により今後の確保方策を検討し、子ども・子育て会議へ報告するとともに、意見を聴取した。	


取組② 待機児童解消に向けた保育士確保策の推進(保育幼稚園課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
「有資格者給与改善費補助金」「保育士宿舍借上補助事業費補助金」の支給を継続するほか、「保育士奨学金返済支援事業費補助金」を創設し、令和6年3月に初回の交付を行った。	「保育士宿舍借上補助事業費補助金」「保育士奨学金返済支援事業費補助金」の支給を継続するほか、「有資格者給与改善費補助金」の単価を23,500円から28,000円に引き上げた。 また、民間保育施設における保育人材確保のため、市内民間保育所等の保育士等合同就職説明会を開催した。	「保育士宿舍借上補助事業費補助金」「保育士奨学金返済支援事業費補助金」「有資格者給与改善費補助金」の支給を継続して行った。	「保育士宿舍借上補助事業費補助金」「保育士奨学金返済支援事業費補助金」「有資格者給与改善費補助金」の支給を継続して行った。 市内民間保育所等の保育士等合同就職説明会を、ハローワークとの共催により実施した。	/

取組③ 育児休業取得に伴い保育施設を一旦退園とする運用の廃止(保育幼稚園課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和5年10月30日をもって運用を廃止した。				/

R5	R6	R7
実施中		

取組① 保育園において、保育園や幼稚園に在園していないお子さんの一時預かり事業を実施する(こども支援課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
公立園6園、民間園23園、計29園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。また、次年度実施に向け実施園との調整を行った。	公立園6園、民間園24園、計30園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。	公立園6園、民間園24園、計30園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。また、次年度実施に向け実施園との調整を行った。	公立園6園、民間園24園、計30園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。公立園における利用料金改定について検討を進めた。	/

取組② 幼稚園及び認定こども園において、お子さんの一時預かり事業を実施する(保育幼稚園課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
幼稚園14園(市外園含む)、認定こども園3園、計17園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。次年度実施予定園に対して通知を行い、令和6年4月1日からの実施に向けて調整を進めた。	幼稚園12園(市外園含む)、認定こども園4園、計16園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。また、来年度の委託契約に向けて準備を行った。	幼稚園12園(市外園含む)、認定こども園4園、計16園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。次年度実施予定園に対して通知を行い、令和7年4月1日からの実施に向けて調整を進めている。また、これまでの幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ)に加え、幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)を令和7年度より実施する準備を整えた。	幼稚園13園(市外園含む)、認定こども園4園、計17園で幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ)を実施した。また、幼稚園1園で幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)を実施した。実施園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。来年度の委託契約に向けて準備を行った。幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ)について、国の示す交付基準単価が増額されたため、令和8年度委託契約より国基準に合わせて補助単価を増額するよう検討を行った。	/

14 PTA・子ども育成会などの活動における負担軽減を支援

R5 R6 R7
実施中

取組① 各関係機関に対し負担軽減や改革推進の働きかけを行うとともに、地域事情に配慮しながら各団体や保護者からの具体的な悩みや相談に対応することで改善を図っていく(社会教育課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
市P連の各種会議や研修会、ホームページ等を活用し、情報提供、及び個別に相談対応を行った。各地区の公民館で開催する所子連による個別相談会会場確保等の支援により、年間を通して、各地区の子ども会育成会の活動を支援した。	PTA活動では、単位PTAからの相談対応の他、市P連事業(PTA会長等研修会や広報誌コンクール)の開催を支援し、活動見直し等の情報共有の場を創出した。また、家庭教育学級事業については、運営面での保護者負担軽減のため、事業内容の見直しや手続きの簡素化、各学級の状況に応じ柔軟な相談対応を行った。	所沢市PTA連合会と連携し、PTA会長等研修会(オンライン併用)で、会長ならではの悩みや活動改善事例を共有した。また、家庭教育学級事業については、負担感のある業務委託から交付金制度への切替準備を行った。	単位PTAからの相談対応の他、所沢市PTA連合会と連携し、各種会議にて活動見直し等の事例を共有した。また、家庭教育学級については、令和7年4月より、負担感のある業務委託から交付金制度へ切替えた。	/

15 いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現

R5 R6 R7
実施中

取組① どこにも居場所がない子ども・若者が生じないよう支援するとともに、できるだけ多様な居場所を持てるよう、官民で連携・協働して取り組む(青少年課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
こどもの居場所づくりに係る国の補助金制度について社会福祉協議会へ情報提供するとともに、会議を実施し、課題の共有を図った。	こどもの居場所づくりに係る県の補助金制度について、社会福祉協議会への情報提供・助言により、補助金の申請に至った。社会福祉協議会とLINEによる若者向けの情報発信等について意見交換を行った。	社会福祉協議会におけるこどもの居場所ネットワーク設立(令和7年2月)を支援した。社会福祉協議会と連携して、職員・市民より回収した書籍等を業者へ売却した利益をこどもの居場所づくりに活用する事業「キモチと。」を実施した。企業の寄付を活用し、こどもの居場所づくり応援事業として子ども食堂等ハレトルト食品を配布した。	こどもの居場所ネットワーク所沢など社会福祉協議会との情報共有を行った。社会福祉協議会と連携して、市民より回収した書籍等を業者へ売却し、利益をこども居場所づくりに活用する事業「キモチと。」を実施した。	/

取組② 青少年育成所沢市民会議や所沢市青少年相談員が実施する事業へ参加してもらうことにより、子どもたちの健やかな心を育てていく(青少年課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
青少年三道大会、少年・少女バスケットボール大会、ジュニア卓球大会、所沢郷土かるた大会は全て予定どおり開催され、参加した青少年の健やかな心の育成に貢献した。	少年野球大会及び少年サッカー大会は全て予定どおり開催され、参加した小学生の健やかな心の育成に貢献した。	青少年三道大会、少年・少女バスケットボール大会、ジュニア卓球大会、所沢郷土かるた大会は全て予定どおり開催され、参加した青少年の健やかな心の育成に貢献した。	少年野球大会及び少年サッカー大会は全て予定どおり開催され、参加した小学生の健やかな心の育成に貢献した。	/

取組③ 不登校、引きこもりの初期において、その要因に発達障害の特性が疑われる児童生徒への居宅訪問による療育的支援を行う(こども福祉課)

R5 R6 R7
検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和6年度からの発達障害児アウトリーチ支援事業の実施に向けた準備を行った。	教育委員会と協議し発達障害児アウトリーチ支援事業のスキームを作成した。公募型のプロポーザルを行い、発達障害児アウトリーチ支援事業の委託契約を締結した。	アウトリーチ支援の導入を行った(実績2ケース:支援中1ケース、支援開始保留中1ケース)。令和7年度に向け受託者と在籍校の情報共有の円滑化等の仕様改善を行った。	年度当初から委託契約を締結し、切れ目ない支援に努めた。市立小・中学校に対し、制度周知のための資料配布を行った。本事業に活かせる不登校児支援ノウハウを有すると認められる事業者に対し、本事業の制度説明を実施し、受託の検討を促した。	/

取組④ スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・生徒指導、いじめ問題対策員・心理士の配置(学校教育課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
①いじめ②非行問題行動③学級不 適応や学級運営改善④非行や怠学 による不登校などの問題に対して、 学校の要請を受け、専門家が適切・ 迅速に対応した。	①いじめ②非行問題行動③学級不 適応や学級運営改善④非行や怠学 による不登校などの諸課題に対し て、学校の要請を受け、専門家が適 切・迅速に対応した。	①いじめ②非行問題行動③学級不 適応や学級運営改善④非行や怠学 による不登校などの諸課題に対し て、学校の要請を受け、専門家が適 切・迅速に対応した。	スクールカウンセラー等の人的配 置により、①いじめ②非行問題行動 ③学級不適應や学級運営改善④非 行や怠学による不登校などの諸課 題に対して、学校の要請を受け、専 門家が適切・迅速に対応した。 また、一部の学校では校内教育支 援センターに配置された校内教育 支援サポーター(SSRサポーター) が不登校児童生徒に対する学習支 援などを行い、配置校における不 登校児童生徒数が減少した。	/

取組⑤ 教育センター教育相談室における相談活動・不登校支援、教職員研修を通して、すべての子どもたちの健やかな成長を促す(教育センター)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
各相談活動(面接・電話・巡回・訪 問)を通し、保護者や児童生徒の思 いに寄り添いながら支援を行った。 教育支援センター「クwest」では 不登校児童生徒の受入れを積極的 に行った。また、教職員のニーズに 対応した研修会を実施した。	各相談活動(面接・電話・巡回・訪 問)を通し、保護者や児童生徒の思 いに寄り添いながら支援を行った。 教育支援センター「クwest」で は、教育相談支援員を1名増員し、 不登校児童生徒の受入れを積極的 に行った。また、教職員のニーズに 対応した研修会を実施した。	各相談活動(面接・電話・巡回・訪 問)を通し、保護者や児童生徒の思 いに寄り添いながら支援を行った。 教育支援センター「クwest」で は、教育相談支援員を1名増員し、 不登校児童生徒の受入れを積極的 に行った。また、教職員のニーズに 対応した研修会を実施した。	教育支援センター「クwest」で は、不登校児童生徒の受け入れを 積極的に行い支援した。子どもの不 登校に悩む保護者支援にも力を入 れ、リーフレットの配布とともに、保 護者同士や関係機関と繋がる機会 として「ころんカフェ「紡ぎ」の開催 等を行った。また、教職員のニーズ に対応した研修会を実施した。 これらの教育センターにおける各 相談活動(面接・電話・巡回・訪問) をはじめ、学校や教育委員会の 様々な取組により、不登校児童生 徒数の割合に改善の兆しが見え始 め、増加傾向から横ばいへと転じ た。	/

16 市内小・中学校の防犯対策強化

R5 R6 R7

実施中

取組① 学校経営アドバイザーの学校訪問による指導・助言や、コミュニティ・スクールにおける地域ぐるみでの防犯対策を行う(学校教育課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>平時よりスタッフが学校を巡回し、事件、事故の未然防止に努めた。安全安心な学校と地域づくり推進本部会議は、開始以来18年が経過し当初の目的が達成されたことから見直しを図った。</p>	<p>平時よりスタッフが学校を巡回し、事件、事故の未然防止に努めた。安全安心な学校と地域づくり推進本部会議で行っていた防犯に関する事業は、コミュニティスクールへ統合されたり、学校独自の取組として地域と共に連携したりして、形を変えて取り組んだ。</p>	<p>平時よりスタッフが学校を巡回し、事件、事故の未然防止に努めた。各中学校区ではコミュニティスクールや安全安心支部会議において、地域の課題について共通理解を図り、地域ぐるみで防犯対策に取り組んだ。</p>	<p>平時よりスタッフが学校を巡回し、管理職等へのアドバイスをを行い、事件・事故の未然防止に努めた。学校からの要請により、スタッフが不審者対応訓練、非行防止教室、薬物乱用防止教室を行い、児童生徒に啓発を行った。各小・中学校ではコミュニティスクールにおいて、地域の課題について共通理解を図り、地域ぐるみで防犯対策に取り組んだ。</p>	

取組② 犯罪の抑止と来校者を把握するため、市内中学校へ防犯カメラを設置する(教育施設課)

R5 R6 R7

検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>見積金額を各校毎に算出し、その金額を基に補助金の申請を行った。設置位置について現場調査を行った。</p>	<p>中学校8校に対して防犯カメラ設置位置を定め、設計及び起工の準備を整えた。</p>	<p>中学校8校に対する防犯カメラ設置工事が完成し、学校施設の防犯体制の推進及び安全性が向上した。</p>	<p>中学校7校に対して防犯カメラ設置位置を定め、設計及び起工の準備を整えた。</p>	

17 学校給食に所沢の食材の利用促進

R5 R6 R7
実施中

取組① 農業振興課と連携し、地元農家と学校給食とを結び、地元野菜の使用向上、食育推進へとつなげていく(保健給食課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>令和5年11月は所沢産野菜を積極的に献立に取り入れ、各学校の給食だよりで紹介した。令和5年12月に有機農家を招き、栄養士対象に有機野菜についての研修会を農業振興課と連携し開催した。給食センターは人参、単独校では、じゃがいも、人参、大根の有機野菜を給食として提供した。有機野菜を栽培している生産者を学校に招き、児童と一緒に給食を喫食し、交流の機会を持った。</p>	<p>令和6年6月の彩の国ふるさと学校給食月間では、積極的に、地場産野菜を給食に取り入れた。有機栽培の夏野菜を自校式給食の6校で使用できた。また年間を通して使用するモデル校の1校では、生産者を学校に招き、児童と一緒に給食を喫食し、交流の機会を設けた。また保護者の試食会でも、有機栽培の野菜を使用した。</p>	<p>地場産野菜を積極的に使用した。有機栽培の野菜を使用するモデル校の1校では年間を通して使用することができた。また全校でも、人参、大根、さつまいも、ねぎ、じゃがいもを使用することができ、生産者とも交流を行った。また、生産者をホームページで紹介するなどして周知に努めた。</p>	<p>令和7年6月の彩の国ふるさと学校給食月間では、積極的に、地場産野菜を給食に取り入れた。今年度も年間を通して使用するモデル校として1校が取り組んでおり、生産者を学校に招き、児童と一緒に給食を喫食し、交流の機会を設けた。児童が食材に関わる機会として玉ねぎの皮むきなどを行った。有機栽培のじゃがいもを給食として単独調理校で使用した。</p>	

取組② 農産物の提供に協力する農業者と一体となり、学校給食への地元農産物の利用について推進していく(農業振興課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>保健給食課や有機農業実践者等との打合せを継続的にを行い、納品規格を見直した。</p> <p>令和5年12月には栄養士向けの有機農業に関する勉強会を保健給食課と連携して行ったほか、令和6年1月以降の給食への試験導入に向けた調整を進めた。</p> <p>また、地元生産者の野菜を給食センターに活用する新たな取組みにも着手した。</p> <p>地元有機農家の協力により、令和6年1月から3月にかけて両学校給食センター及び全単独調理校に野菜の試験的導入を行った。</p> <p>令和6年2月の保健給食課主催の食育フォーラムでは、試食用給食に使用される野菜の一部を地元有機農家が提供した。</p> <p>令和6年3月には、次年度の利用促進に向けた供給計画の作成や、安定的な提供に向けた検討を行った。</p>	<p>「とことこオーガニック」として地元で有機栽培された農産物を、令和6年6月から9月にかけて、7校で試験的導入を行った。(うち1校は継続して年間モデル校として使用していく。)</p> <p>また、令和6年11月から全校に対して、とことこオーガニック協力農家による共同出荷での提供を予定しているため、これに向けた調整会議を行った。</p> <p>その他、保健給食課や現場の栄養士と連携し、学校での地元農家と子どもたちと交流を進めた。</p>	<p>学校給食への食材提供に関心のある農業者から相談があった際には、保健給食課と連携して利用に向けた調整を行っている。</p> <p>オーガニック給食に関しては、地元有機農家同士で連携して同一品目の共同出荷を試行し、市内全小・中学校に、さつまいも、長ねぎ、にんじん、大根を提供した。また、令和7年1月に開催した「とことこオーガニックマルシェ」では有機農家による野菜販売とあわせ、給食の取組についての情報発信を行った。</p>	<p>令和7年5月、有機農業の拡大に向けて生産から消費まで一貫した取組を地域ぐるみで進める市町村として、「オーガニックビレッジ宣言」を行った。</p> <p>「とことこオーガニック」として地元で有機栽培されたじゃがいも、玉ねぎ、かぼちゃ、なす等の農産物を、年間モデル校1校の学校給食において、令和7年6月から毎月2回程度提供している。同校では、令和7年9月に地元農家と児童の交流会を実施した。また、同農法によるじゃがいもを一部の単独調理校で活用した。(令和7年9～10月に全単独調理校で活用予定。)</p> <p>同農法による農産物の学校給食への試験導入にあたっては、保健給食課や有機農業の実践者等と継続的に打合せを行った。</p>	/

18 普通教室・体育館に加え、特別教室、武道場にもエアコンを設置

R5 R6 R7
検討中 実施中

取組① エアコンが未整備の特別教室へエアコンを設置する。また、中学校の武道場へもエアコンを設置していく(教育施設課)

R5 R6 R7
検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>該当校に対する設置対象教室の選定を行った。 設置対象教室の現場調査を行った。 次年度の工事に向け、準備、検討を行った。</p>	<p>設置対象教室(中学校の3教室)のエアコン整備を、令和6年9月末に完成させた。</p>	<p>次年度の工事に向け、準備、検討を行った。</p>	<p>設置対象教室(中学校の3教室)のエアコン設計、起工、工事を行い、エアコン整備を進めた。</p>	/

19 70歳以上の方のところバス、ところワゴン無料化

R5 R6 R7
検討中

取組① 70歳以上の方の無料化に向けて検討・調整を行う(都市計画課)

R5 R6 R7
検討中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>制度について検討した。 無料化に向けた検討を進めるための予算を議会に提出した。</p>	<p>運行事業者との調整が難航したため、制度設計や運賃協議会へ諮るところまで至らなかった。 また専門家の意見を伺い、課題の解決に向けた検討を行った。</p>	<p>運行事業者との調整が難航したため、制度設計や運賃協議会へ諮るところまで至らなかった。 引き続き、課題の解決に向けた検討を行った。</p>	<p>制度設計に向け交通事業者へのヒアリング等を実施した。制度設計や運賃協議会へ諮るところまでは至っていない。 引き続き、課題の解決に向けた検討を行った。 インターネットや電話により全国規模での先進自治体の情報収集を行った。</p>	/

20 ゴミ有料化反対

R5 R6 R7

達成中

取組① ゴミ有料化をしない方針であることを市長が表明する(資源循環推進課)

R5 R6 R7

達成中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
達成中				
市長着任後、ゴミ有料化をしない方針であることを表明した。				

21 ふるさと納税の活用

R5 R6 R7

実施中

取組① 返礼品を再開し、寄附金の受け入れを行う(財政課、産業振興課、商業観光課、農業振興課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
返礼品の再開に向けて他自治体・委託業者へ委託内容等の調査を行った。	返礼品の再開について、令和6年第2回定例会にて補正予算の議決を得た。 令和6年7月に中間委託事業者を選定・決定を行い、並行して返礼品の総務省審査のために、埼玉県へ108品目分の申請を行った。	返礼品の調整を行い、令和6年11月1日に返礼品の提供を再開した。その後も継続して事業者の募集を行い、返礼品の充実を図った。 ・令和6年11月～3月の寄附額: 131,060,264円 年間取扱返礼品品目数: 239品	継続してふるさと応援寄附の受け入れを行うため、次期(令和7年10月1日～令和8年9月30日)指定団体の申出を行った。 ・継続して事業者の募集を行い、返礼品の充実を図った。 寄附額: 95,391,864円 上半期取扱返礼品品目数: 359品	

22 都市計画区域の積極的見直し

R5 R6 R7

実施中

取組① 地域の特性や周辺環境との調和に配慮し、みどりの保全と計画的な開発による適正な土地利用を目指す(市街地整備課)

R5 R6 R7


実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>上安松・下安松西地区の市街化区域編入に向けた調整を市街地整備課と行うとともに、課題解決に向けた検討を行った。</p> <p>三ヶ島工業団地周辺地区及び下安松東地区が市街化区域へ編入、土地区画整理組合の設立を認可し、土地区画整理事業に着手した。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区 面積:28.6ha(既存工業団地を約6.6倍に拡大) 土地区画整理事業期間:~令和12年3月まで ・下安松東地区 面積:15.8ha 土地区画整理事業期間:~令和11年3月まで 	<p>上安松・下安松西地区の市街化区域編入に向けた都市計画決定のスケジュール調整を市街地整備課と行うとともに、課題解決に向けた検討を行った。</p> <p>令和6年8月30日に若松町土地区画事業の換地処分(※)を公告した。</p> <p>※換地処分:事業前の土地に対し、事業後の土地を正式に割り当てること(登記簿の変更)</p>	<p>上安松・下安松西地区の市街化区域編入に向けた都市計画決定のスケジュール調整を市街地整備課と行うとともに、課題を整理した。</p> <p>令和6年10月30日に北秋津・上安松土地区画整理事業地内の「かみの山」で行っている「かみの山再生プロジェクト」において、北秋津小学校の児童とともに約1,700本を植樹するイベントを実施した。</p> <p>令和7年3月25日に若松町土地区画整理組合の解散認可を公告した。</p>	<p>上安松・下安松西地区の市街化区域編入に向け、埼玉県農林部局との調整、地域地区等の協議を進めた。</p> <p>令和7年6月20日に三ヶ島工業団地周辺地区において、産業系土地利用の拡大を目的に地区計画を変更した。</p> <p>【参考】 産業系土地利用面積を0.3ha増</p> <p>令和7年9月20日に関越自動車所沢IC周辺地区の土地区画整理の具体的な検討を進める組合設立準備会が結成された。</p> <p>【参考】 関越自動車道所沢IC周辺地区 面積:41.5ha(三ヶ島工業団地の約1.5倍)</p>	

23 中小零細企業、農業振興への活性化支援、担い手不足対策


R5 R6 R7


取組① 所沢市地域資源活用・ものづくり総合支援補助金の交付を推進する(産業振興課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
金融機関(37支店)へDMを発送した。 ビジネスアリーナに出展している事業者に、チラシを配布し、事業の周知に努めた。	広報ところざわ令和6年4月号及び所沢商工会議所会報誌SORA4月号で募集案内を掲載した。一次募集で9件の申請があり、6件の交付決定を行った。	現地確認、交付確定をし、補助金の支払いを行った。目標達成済みであるため、次年度の募集に向け、事業者への周知と募集に関する課題の整理を行った。	広報ところざわ令和7年4月号及び所沢商工会議所会報誌SORA4月号で募集案内を掲載した。一次募集で3件の申請があり、3件の交付決定を行った、また二次募集を行い、3件の申請を受け付けた。	

取組② 認定農業者等を支援することで農業の担い手を確保する(農業振興課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対しその費用の一部を補助した。	認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部補助について、申請受け付けや交付決定、補助を行った。	認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部補助について、申請受け付けや交付決定、補助を行った。 【令和6年度補助実績】 機械補助 15件 施設補助 4件 修繕補助 2件 補助金額 20,904,000円(執行率99.0%)	認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部補助について、申請受け付けや交付決定、補助を行った。	

24 旧市役所庁舎、文化会館跡地の有効活用

R5 R6 R7
検討中 実施中

取組① 旧庁舎・文化会館跡地活用について、様々な観点から検討する(経営企画課、産業振興課)

R5 R6 R7
検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
引き続き市HPなどで提案を募るとともに、事業者との意見交換を実施した。	金融機関へのヒアリングを実施した。 市内金融機関16行を訪問して、活用案を募集している旨を周知した。 引き続き市HPなどで提案を募るとともに、事業者との意見交換を実施した。	不動産関係等の事業者5社からヒアリングを実施し、関係部署による調整会議を実施した。 上記ヒアリングの内容を踏まえ、課題の洗い出しを行うとともに、次年度以降の進め方について論点を整理した。 解体に必要なアスベスト調査、地歴調査に係る経費の予算措置を講じた。	サウンディング型市場調査(民間対話)実施に向けた準備・調整等を進めた。 アスベスト調査及び地歴調査の業務に着手した。	/

25 所沢市の歴史・文化などの保管できる場所の設置

R5 R6 R7
実施中

取組① 郷土資料等収蔵施設を整備する(文化財保護課)

R5 R6 R7
検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和5年11月6日に第1回庁内検討会議を開催して、改めて資料管理のデジタルシステム化の必要性を確認し、予算要求を行った。 令和6年2月8日に第2回庁内検討会議を開催して、既存施設の活用・整備について、次年度以降より詳細に検討することとなった。	令和6年7月29日に第1回庁内検討会議を開催し、既存施設の活用・整備について検討した。 令和6年10月から郷土資料管理システムを導入する。それに向けた契約手続きやデータ整理を行った。	令和6年10月に郷土資料管理システムを導入し、資料のデジタル化の運用を開始した。 令和7年2月13日に第2回庁内検討会議を開催し、整備の方向性を検討した。	資料保存用の中量棚を設置し、資料整理の環境を整えるとともに、所蔵資料の再整理を進めた。	/

取組② 航空資料の展示スペースを整備する(所沢図書館)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
航空史研究者・故田中昭重(てるしげ)氏所蔵の航空資料(図書約3,000冊、雑誌約5,000冊、航空機模型約270機)の寄贈を受け、図書館で展示するための整理、システム登録を開始した。	引き続き、寄贈を受けた航空資料の整理、図書館で展示するためのシステム登録を行った。	航空資料の整理、登録を行うとともに、航空資料コーナーの拡大について検討を進め、レイアウト等を決定した。	航空資料の整理、登録については継続。航空資料コーナー拡大に向けて室内の整備、模型展示のための準備を進め、写真パネルについては展示等を開始した。	

26 地域包括支援センターの充実・強化

R5 R6 R7


取組① 高齢者の生活を総合的に支援するため、効果的かつ安定的な運営を図るとともに、総合相談支援等の機能強化に取り組む(高齢者支援課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
第9期計画の策定、人員配置基準の見直し、人員配置の改善に向けた調整、地域ケア運営会議等の開催等により安定的な運営と機能強化に取り組んだ。一部委託業者の変更、ヒアリング、次年度運営方針の作成、マニュアルの改正、地域ケア運営会議等の開催、介護保険制度改正への対応の検討等により安定的な運営と機能強化に取り組んだ。	14包括とのヒアリングの実施により情報共有と連携強化を図り、また地域ケア運営会議等の開催等により安定的な運営と機能強化に取り組んだ。	令和7年度から9年度までの3年間の包括業務委託の契約締結。受託法人へのヒアリング、次年度運営方針の作成、マニュアルの改正、地域ケア運営会議等の開催等により安定的な運営と機能強化に取り組んだ。	月1回地域包括支援センター運営会議を開催し、情報の共有と課題の把握に努めた。また、国の事業評価の回答を踏まえ、14の地域包括センターとヒアリングを行い、日頃の業務における状況の把握と要望等について聴取する機会を持った。	

27 シルバー人材センターを活用した市の活性化策の実現

R5	R6	R7
実施中		

取組① 高齢者の就労による生きがいの高揚やシルバー人材センターの地域社会への貢献を促進するため、センターへの補助金交付を維持し、活動支援を継続する(高齢者支援課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>シルバー人材センター活動周知のためのパネル展開催に協力した。シルバー人材センターの業務状況などを把握し、引き続き、市の業務委託を通じた雇用の創出や新たな活躍の場の創出などについて検討を行った。</p>	<p>シルバー人材センターへの補助金交付について適切に事務を行った。特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律や適格請求書等保存方式(インボイス制度)への対応について、協議を行った。</p>	<p>シルバー人材センター活動周知のためのパネル展開催に協力した。特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律や適格請求書等保存方式(インボイス制度)への対応に係る契約方法の見直し、倉庫の移転等の相談に応じ、支援を行った。</p>	<p>シルバー人材センターへの補助金交付について適切に事務を行った。特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律や適格請求書等保存方式(インボイス制度)への対応について、協議を行った。</p>	/

28 農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進

R5 R6 R7
実施中

取組① 農福連携を進めるための仕組みづくり等の研究を進める(障害福祉課、産業振興課、農業振興課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>産業振興課主管の農商工連携きっかけづくり交流会に、社会福祉法人藤の実会の運営する「所沢市立はばたき」および「かがやき」が参加し、結果について分析を行った。農業者と福祉事業者の仲介を行い、農作業を福祉事業所で行った。また、作業を他事業所が見学し、農福連携の取組みを周知した。体験農場の募集に際し、福祉優先枠を設置し農福連携を周知した。また、市内農業者と所沢おおぞら特別支援学校が体験授業として行う落ち葉掃きを支援した。</p>	<p>農商工連携きっかけづくり交流会への参加について調整を行った。また、「勉強会」(交流会ではない)の講師として墨田区のすみのわを呼ぶことを提案した。就労継続支援B型事業所の飛行船に連絡し、交流会への出席を打診した。農業振興課から障害福祉課に市内で農産物の加工ができる事業者を探しているとの相談があり、市内の就A・就Bにメールで照会を行った。昨年度個別に相談があり、連携に協力した荒田ファームとれんげの郷から、今年度も連携して作業を行うとの連絡があった。農業者からの要望を基に、福祉事業者へ周知、募集を行った。また、昨年度紹介した案件が今年度も農業者から福祉事業所に発注され、取組みが継続された。</p>	<p>令和7年1月17日開催の農商工連携きっかけづくり交流会に参加した。障害者関係の事業所からは、「NPO いずみ飛行船」、「所沢市立きぼうの園」、「森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房」3つのB型就労支援事業所が参加し、参加者同士の理解が深められ、今後の連携の可能性が広がる、地域の事業者間でのネットワーク構築を促進する重要な機会となった。農業者からの相談対応を行った。また、県立所沢おおぞら特別支援学校の落ち葉掃き体験授業を支援し、その内容を窓口で紹介した。</p>	<p>農商工連携きっかけづくり交流会の開催に際して、関係各課で情報交換を行った。社会福祉法人 皆成会の就労継続支援B型「はあもにい」へ参加を呼びかけ。交流会の趣旨と参加方法等について共有し、参加の返事をいただいた。県立所沢おおぞら特別支援学校の落ち葉掃き体験授業の支援について準備を進めた。</p>	

29 図書館・市立小・中学校の図書館充実

R5 R6 R7

実施中

取組① 来館が困難な方へ読書機会の提供としての団体貸出を拡充(所沢図書館)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>図書館のホームページで、団体貸出サービスについて掲載している。また、ブックトークで小学校訪問時に先生や学校司書に学校団体貸出の利用について情報発信を行った。図書館の広報紙「今月の図書館」への掲載、高齢者向け資料リストを該当施設送付の際に団体貸出についての周知を行った。</p>	<p>図書館のホームページで団体貸出サービスについて掲載している。また、校園長会や私立幼稚園協会の集まりにて団体貸出の利用について情報発信を行った。</p>	<p>子どもの読書活動推進連絡会の出席者や図書館見学に来館した先生、出張おはなし会の際に団体貸出の利用について情報発信を行った。</p>	<p>図書館のホームページで団体貸出サービスについて掲載している。また、校長会、私立幼稚園協会、子育て支援センターの集まりにて団体貸出の利用について情報発信を行った。</p>	/

取組② 学校司書を小・中学校に配置することにより、利用しやすい学校図書館の運営を図る。(学校教育課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>利用人数の増加に向けて、学校司書研修会を実施し、利用しやすい学校図書館の運営に努めた。</p>	<p>利用人数の増加に向けて、学校司書研修会を実施し、利用しやすい学校図書館の運営に努めた。</p>	<p>利用人数の増加に向けて、学校司書研修会を実施し、利用しやすい学校図書館の運営に努めた。</p>	<p>小・中学校の学校司書を33人から35人に増員した。利用人数の増加に向けて、学校司書研修会を実施し、利用しやすい学校図書館の運営に努めた。</p>	/

30 所沢イレブン会議の設置


R5 R6 R7
実施中

取組① 地域の各種団体が構築するネットワークの情報を共有するため、地域力促進会議(関係所属課構成の会議体)の活用、地域デザイン交流会(地域住民と関係課職員が地域の課題を共有する事業)の開催(地域づくり推進課)


R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>地域力促進会議を開催。「所沢市地域づくりガイドライン」の改定について協議及び地域力促進会議を活用した地域課題解決の取組みの充実の必要性を共有した。 地域デザイン交流会をワークショップ(ワールドカフェ形式)で開催した。(テーマ:「地域ではじまる、多世代交流」~きっかけは私たちの日常の中に~)</p>	<p>地域デザイン交流会の実施に向け、講師の選定、日程調整、会場確保等の準備を行った。</p>	<p>地域力促進会議を開催。「所沢市地域づくりガイドライン」の改定について協議した。 地域デザイン交流会をワークショップ(ワールドカフェ形式)で開催した。(テーマ:「地域での活動自慢」~住民における活動事例をもとに~) 令和6年10月に「自治会・町内会」をテーマに市長タウンミーティングを開催した。以後、「各地区のまちづくり」をテーマに各まちづくりセンターを会場に開催した。 開催に当たっては、事前に各部署やまちづくりセンターと、各地区での課題等について整理を行った。 ※市長タウンミーティングについてはP10「10市長タウンミーティングの開催」(市民相談課)を参照</p>	<p>地域デザイン交流会の実施に向け、講師の選定、日程調整、会場確保等の準備を行った。 また引き続き、各地区の課題や問題を整理した上で、「各地区のまちづくり」をテーマに各まちづくりセンターで市長タウンミーティングを開催した。 ※市長タウンミーティングについてはP10「10市長タウンミーティングの開催」(市民相談課)を参照</p>	

31 透明性が高く、市民が主役のまちをつくる

R5 R6 R7


取組① 所沢市自治基本条例の実効性確保を目的に、各条項の実施状況を報告し、意見聴取を行う(経営企画課)


R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
住民投票条例を制定する場合のスケジュールを検討するとともに、条例設置済み他市町村の情報収集を行った。 次期所沢市自治基本条例推進委員会の設置に向けた連絡調整を行った。	令和6年7月に第1回の自治基本条例推進委員会を開催し、委員への委嘱を行ったのち意見聴取を行った。	令和6年11月及び令和7年2月に自治基本条例推進委員会を開催し、総合戦略や市民参加等について、意見聴取を行った。	令和7年7月に令和7年度第1回(4回目)の自治基本条例推進委員会を開催し、総合戦略の改訂に向けた意見聴取を行った。	/

32 医療分野における人権侵害の徹底排除

R5 R6 R7


取組① 人権尊重社会の実現に向け、啓発活動に取り組む(企画総務課・市民相談課・社会教育課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
協議会や団体が主催する講演会、市内事業所や市民、職員を対象とした各種研修等の開催(計7回)などを通じ、人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。	協議会や団体が主催する講演会、市内事業所や市民、職員を対象とした各種研修等の開催(計5回)、令和6年度下半期に開催予定の研修の準備などを通じ、人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。	協議会や団体が主催する講演会、市内事業所や市民、職員を対象とした各種研修等の開催(計13回)などを通じ、人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。	協議会や団体が主催する講演会、市内事業所や市民、職員を対象とした各種研修等の開催(計2回)、令和7年度下半期に開催予定の研修の準備などを通じ、人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。	/

33 期日前投票所の増大

R5 R6 R7
検討中 実施中

取組① 期日前投票所の増設(選挙管理委員会事務局)

R5 R6 R7
検討中 実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
公共施設、商業施設等を中心に、増設先の候補を抽出し、設置時の課題を整理した。	増設の時期、増設先及び増設する数について、選挙管理委員会において方向性の共有を図った。	増設先の関係者と今後の期日前投票所の運営について、打合せを行った。期日前投票所増設のための経費を令和7年度予算に計上した。	第27回参議院議員通常選挙において、期日前投票所を東西2か所に増設し、3日間運営した。投票者数は、柳瀬まちづくりセンターホールが計2,379人、三ヶ島まちづくりセンターホールが計3,986人、合計で6,365人であった。	/

34 災害に強いまちの実現


R5 R6 R7
実施中

取組① 総合的な防災力の向上を図るため、実践的な防災訓練を実施する(危機管理室)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
発災直後に自宅からの避難を始め、安否確認、避難所開設までの一連の行動を実践的に訓練できるよう、自主防災活動訓練の内容の見直しを実施した。予備福祉避難所、帰宅困難対策、物流に関する災害時応援協定を計3件締結した。	総合防災訓練の実施に向け、市民及び関係機関等へ訓練内容の説明等を実施した。 ※令和6年8月31日の総合防災訓練は大雨の影響により一部中止 物資提供、帰宅困難対策に関する災害時応援協定を計2件締結した。	災害対策本部訓練の内容見直しのため検討を実施した。 総合防災訓練実施時期の変更に向けた調整を実施した。 視覚障害者、聴覚障害者の避難支援を確認するため、要支援者の避難訓練を実施した。 物資提供、救護活動、指定福祉避難所に関する災害時応援協定を計7件締結した。	実践的な総合防災訓練の実施に向け、企画、調整、準備を実施した。避難場所に参集する職員がより迅速に参集できるよう避難場所等参集職員の選任方法を変更した。帰宅困難対策、物資提供に関する災害時応援協定を計3件締結した。	/

取組② 埼玉県的第一次特定緊急輸送道路に指定されている国道463号バイパスと県道所沢青梅線を結ぶ「上藤沢・林・宮寺間新設道路」を、三ヶ島地区の地域活性化に重要な幹線道路として整備する(道路建設課)


R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
3工区について、今年度の買収予定地の契約締結を進めていたが地権者の諸事情により契約に至らなかった。	今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。築造工事を発注した。	今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。令和7年3月11日に築造工事が完了した。	今年度買収予定地の一部について、契約を締結した。道路築造工事を発注した。	/


取組③ 柳瀬川と東川合流地点前後区間における河川幅員の妨げとなっている清柳橋の改築することで、今後の浸水被害の軽減を図るとともに、接続する市道1-900号線の道路を整備する(道路建設課)

R5 R6 R7



令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
市道1-900号線の道路改良工事を工期内に問題なく完了した。	市道1-900号線の改良工事について、工期内竣工に向け、順調に進めている。			/
		市道1-900号線の改良工事が完了し、令和7年3月15日に新しい清柳橋が開通した。		

取組④ 松戸橋について、橋脚による流水の阻害解消及び老朽化による事故・災害リスクの軽減を図るため、架け替えを行い、災害に強い交通網の整備を目指す(道路建設課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和6年度の事業開始に向け、関係機関及び地権者と協議を進めている。	今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。測量・設計等の業務委託を発注した。	今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。測量・設計等の業務委託が完了した。	今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。	/

取組⑤ 【水道管整備事業】老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)を耐震性の高いダクトイル鑄鉄管等へ更新を進める(上下水道局水道建設課)


R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管の更新を図った。また、令和6年度工事予定のゼロ債務工事8件の契約をした。 更新延長(実績) 9.6km	所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管更新工事の完成に努めている。 更新延長(計画) 8.4km	所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管の更新を図った。また、令和7年度工事予定のゼロ債務工事5件の契約をした。 更新延長(実績) 8.4km	所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管更新工事の完成に努めている。 更新延長(計画) 9.8km	/

取組⑥ 【浄水場整備事業(耐震補強工事)着水井等の耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築する(上下水道局給水管理課)

R5 R6 R7



令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
南部浄水場着水井耐震診断について、工程どおり委託業務を完了した。	東部浄水場着水井ほか1箇所耐震補強等工事について、契約は完了し予定通り工事を進めており、年度末に工事完了予定である。			/
		東部浄水場着水井ほか1箇所耐震補強等工事について、契約は完了し予定通り工事を進めており、工程どおり工事を進め、令和7年3月25日に工事完了した。		

取組⑦ 【浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)災害時においても水道水を確保できるようにするため、老朽化した西部浄水場について、適切な施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新する(上下水道局給水管理課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
西部浄水場更新基本計画策定について、工程どおり委託業務を完了した。	西部浄水場更新工事に向けて、地権者交渉、関係機関協議、事前協議を進めている。	西部浄水場更新基本計画を基に地権者と交渉した結果、取得可能な用地の範囲が判明した。	西部浄水場更新基本設計等について、予定通り委託業務を進めており、令和7年度末に完了予定である。	/

取組⑧ 【下水道管渠布設事業】生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、災害時においても重要なライフラインとなる下水道について、第1次市街化調整区域下水道整備計画に基づく下水道整備事業を行う(上下水道局下水道整備課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
整備計画に基づく汚水管の布設工事を進め、区域の拡大を図った。 整備面積(実績) 11.8ha 整備地区 三ヶ島、日比田、城ほか	整備計画に基づく汚水管の布設工事について、完成に努めている。 整備面積(計画) 7.0ha 整備地区 三ヶ島、日比田、城ほか	整備計画に基づく汚水管の布設工事を進め、区域の拡大を図った。 整備面積(実績) 7.2ha 整備地区 三ヶ島、日比田、城ほか	整備計画に基づき、前年度に繰越した汚水管の布設工事について、完成に努めている。 整備面積(計画) 1.6ha 整備地区 三ヶ島	/

取組⑨ 【下水道地震対策事業】重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠及びマンホール、地下調整池の耐震化を進める(~R6:上下水道局下水道整備課、R7:上下水道局下水道維持課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
耐震診断の結果に基づき、管渠・マンホール等の耐震化工事を進めた。 管渠更生(実績) 222m(東町ほか) マンホール補強(実績) 1か所(下安松)	耐震診断の結果に基づき、管渠・マンホール等の耐震化工事を進めた。 管渠更生(計画) 1828m(日吉町ほか) 雨水調整池補強(計画) 1か所(緑町)	耐震診断の結果に基づき、管渠・マンホール等の耐震化工事を進めた。 管渠更生(実績) 1821m(日吉町ほか) 雨水調整池補強(実績) 2か所(緑町)	耐震診断の結果に基づき、管渠・マンホール等の耐震化工事を進めた。 管渠更生(計画) 716m(北有楽町ほか)	/

取組⑩ 【下水道維持管理事業】災害時においても重要なライフラインとなる下水道について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整える(上下水道局下水道維持課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
市内下水道施設について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整えた。 管渠更生(実績) 540.6m(並木一丁目) 調整池護岸改修(実績)(林一丁目) その他市内下水道施設の維持管理	市内下水道施設について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整えることに努めた。 管渠更生(計画) 574m(並木二丁目ほか) 下水ポンプ更新(計画) 2施設(本郷ほか) その他市内下水道施設の維持管理	市内下水道施設について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整えた。 管渠更生(実績) 574m(並木二丁目ほか) 下水ポンプ更新(実績) 2施設(本郷ほか) その他市内下水道施設の維持管理	市内下水道施設について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整えることに努めた。 管渠更生(計画) 401.8m(並木四丁目) 下水ポンプ更新(計画) 1施設(緑町三丁目) その他市内下水道施設の維持管理	/

35 健康都市・日本一に向けた政策の実現

R5	R6	R7
実施中		

取組① 高齢者が継続的に介護予防・健康づくりに取り組めるよう、普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組を推進する(高齢者支援課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
介護予防・認知症予防アンケートの結果アドバイス票の送付及び実施報告書の作成を行った。 お達者倶楽部の助成金説明会・交流会の開催、シニア・アカデミーの開催等を通じて取組を推進した。	介護予防・認知症予防アンケートの送付及びアンケート回答者への結果アドバイス票等の送付を行った。 お達者倶楽部の活動発表会準備会の開催、ところん元気百歳体操実施団体への活動支援やトコフィット養成講座を開催した。	令和6年度上半期に実施した介護予防・認知症予防アンケートの集計、実施報告書の作成を行った。 お達者倶楽部の活動発表会の開催、上半期に引き続きところん元気百歳体操実施団体への活動支援やトコフィット養成講座を開催した。	介護予防・認知症予防アンケートの送付及びアンケート回答者への結果アドバイス票等の送付を行った。 お達者倶楽部の活動発表会準備会の開催、ところん元気百歳体操実施団体への活動支援やトコフィット養成講座を開催した。	/

取組② 精神障害者アウトリーチ支援事業により、重篤な精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、保健・医療・福祉の多職種チームによる24時間対応の支援を実施する(健康管理課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
令和6年3月末現在の支援対象者は93人であり、看護師等が365日24時間体制で電話対応等を行うオンコール体制による支援を継続している。	令和6年8月1日に国立精神神経医療研究センターと契約を締結し、令和6年10月以降も滞りなく事業を実施できるよう準備を進めた。なお、令和6年8月末までの支援対象者数は88人であり看護師等が365日24時間体制で電話対応等を行うオンコール体制による支援を継続している。	契約締結後も滞りなく支援を継続している常時支援対象者を90人以上とし事業を推進している。令和7年3月末で91人に対し看護師等が365日24時間体制で電話対応等を行うオンコールでの支援を実施している。 また、広島市、フィリピン保健省、ウクライナ保健省から視察を受け入れた。	常時約90人に対し看護師等が365日24時間体制で電話対応等を行うオンコール体制による支援を実施している。 また、広島市議団及びフィリピン保健省からの視察の申込みがあり受け入れ準備を行った。	

取組③ 埼玉県の「コバトン健康マイレージ」への参入、「トコトコ健幸マイレージ」の事業展開により、「歩くこと」を中心とした健康づくりをさらに推し進め、健康寿命の延伸や医療費の抑制を図る。(健康づくり支援課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
トコトコ健幸マイレージ事業での市独自ポイント対象事業については、関係課と調整のうえ10事業を対象として実施した。下半期後半にはポイントの集計を行うとともに、市独自の景品である「お食事券」について、対象店舗の選定、送付状等の作成、当選者の確定等を経て、令和6年3月中旬に配送を行った。 また、庁内各課との連携により対象事業を拡充した「イベント参加ポイント」の取得者について、当選者の確定を行い、景品であるクオカードを令和6年3月中旬に送付した。新事業への移行に向け、必要な予算を計上した。 新アプリが令和6年1月中旬に利用できるようになったため、県と連携して操作講習会を開催したほか、市HPや広報紙等による情報発信を行った。	「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」が令和5年度末で終了し、令和6年度から「コバトンALKOOマイレージ」に移行したため、埼玉県と連携して情報発信等を行い、新事業の周知を進めた。 参加者の拡充のため、「歯と口の健康週間行事」や「健康増進月間イベント」において新規加入を促したほか、公民館事業等に出向き、周知を行った。その結果、参加申込者数は9月末で8,442人となっている。 ウォーキング等外出時の熱中症対策として、X(旧Twitter)で、涼しい時間の選択やこまめな水分補給、塩分やミネラルの摂取等を紹介したほか、保健センター内にあるウォーターサーバーや指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の周知を行った。 平均歩数の増加及び参加者拡充のため、ウォーキング促進強化月間の企画・準備を進めた。また、他所属が主催するウォーキングイベントと連携し、ポイント対象事業とするため、調整・準備を行った。	参加者数の増加のため、令和6年10月に小手指公民館分館の体操事業に出向いての周知及び富岡まちづくりセンターでのマイレージアプリ登録会を実施した。 令和6年11月に他所属が主催するウォーキングイベント「市民体力つくりトコロんウォーク2024(令和6年11月4日開催、総参加者数233人)」及び「みどりのふれあいウォーク(令和6年11月9日開催、総参加者数1,457人)」と連携し、事業を周知した。 令和6年10月～12月にウォーキング促進強化月間を実施した。その結果、参加申込者数は令和7年3月末で9,325人となっている。市独自ポイントの集計を行うとともに、市独自の景品である「お食事券」について、対象店舗の選定、送付状等の作成、当選者の確定(1,400人)等を経て、令和7年3月中旬に配送を行った。	参加者の拡充のため、「歯と口の健康週間行事」や「健康増進普及月間イベント」において新規加入を促した。その結果、参加申込者数は令和7年9月末時点で10,127人となっている。 ウォーキング等外出時の熱中症対策として、X(旧Twitter)で、涼しい時間の選択やこまめな水分補給、塩分やミネラルの摂取等を紹介したほか、保健センター内にあるウォーターサーバーや指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の周知を行った。 各まちづくりセンター等でチラシの配布やポスター掲示により、事業の周知を行った。 令和7年6月には三ヶ島地区スマホ教室に参加し、マイレージの相談対応、歩数計による歩数管理表の申請受付を行った。	

36 ゼロカーボンシティの推進、SDGs未来都市に

R5 R6 R7
実施中

取組① SDGsの理念に沿った取組を推進する(経営企画課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
内閣府主催のSDGsオンライン相談会に参加するなど、未来都市に関する情報収集を行った。	SDGs未来都市に関する情報収集を行った。	令和7年2月12日に、2025年度SDGs未来都市募集に係る説明会に出席して情報収集を行った。ダイアプラン構成市における検討状況の情報収集を行った。	所沢市総合計画後期基本計画の各分野において、施策と17のゴールとの関連性を明確にし、SDGs達成に向けた一体的な取組を行うことで、「SDGs 未来都市」に求められる経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組や、地域における自律的好循環の形成が進められている。特に環境面においては、ゼロカーボンシティ宣言や埼玉県と連動して環境SDGs取組宣言企業制度を推進するなどの取り組みを行っている。	/

取組② 【ゼロカーボンシティの推進】①公共施設への太陽光発電設備設置②スマートハウス化推進補助金による家庭の脱炭素化推進③脱炭素経営ネットワーク会議開催等による脱炭素経営賛同者数増(マチごとエコタウン推進課)


R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
①プロポーザルにより事業者を選定。基本協定及び仮契約を締結した。 ②予算額執行率79%(令和6年3月29日時点) ③「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を立ち上げ、本部会議、作業部会及びセミナー、脱炭素経営ネットワーク交流会及び展示会を実施した。	①プロポーザルにより選定した事業者との仮契約に基づき、環境省の補助制度を活用するため、事業者と市で共同で補助申請した。 ②予算執行率34%(令和6年9月1日時点) ③脱炭素経営ネットワーク本部会議と交流会を開催した。	①補助の交付決定を受けた3施設について、本契約を締結し工事の設計を行った。 ②予算執行率96.9% ③交流会や環境展示会を開催したほか、CO2可視化事業を実施した。	①令和6年度に補助の交付決定を受けた3施設については、工事の設計・施工を行った。また、令和7年度の補助公募に再申請し、追加で3施設の交付決定を受けた。 ②予算執行率55%(令和7年9月末時点) ③脱炭素経営ネットワークの本部会議を開催し、今後の方針を決定した。	/

37 所沢の魅力を強力に発信、観光客を呼び込む

R5 R6 R7


取組① COOL JAPAN FOREST構想に基づき、株式会社KADOKAWAと連携し魅力向上の効果波及を目指す(経営企画課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>令和5年11月18・19日に武蔵野回廊文化祭、令和5年12月29日のFAVCUP2023に出展したほか、令和6年2月8日にCOOL JAPAN FOREST実務担当者会議を実施し、双方の情報共有を図った。 令和6年3月23日にはプロeスポーツチームFAVgamingの凱旋報告会を実施した。</p>	<p>所沢市Mixカルチャーフェスタの委託事業者を決定し、受託事業者から市内事業者に参加協力を依頼するとともに、タイムスケジュール及び内容について受託事業者と調整を進めた。</p>	<p>令和7年11月17日に、ところざわサクラタウンで、所沢Mixカルチャーフェスタを開催した。滝の城まつりの武者行列や重松流祭囃子の披露、作家の角田光代氏のトークイベント、所沢の文化小物を使った撮影ブースの開設、所沢の工芸品展示、名産品の試食ブース、つまみ細工ワークショップを実施した。市内外からおよそ690人にご参加いただいた。</p>	<p>武蔵野回廊文化祭実行委員会や所沢Mixカルチャーフェスタの開催に向けた検討を行いつつ、KADOKAWAやサクラタウンが実施するイベント等への後援や周知に努め、COOL JAPAN FOREST構想の推進に取り組んだ。</p>	/

取組② 所沢市広報課Instagramを積極的に活用する(広報課)

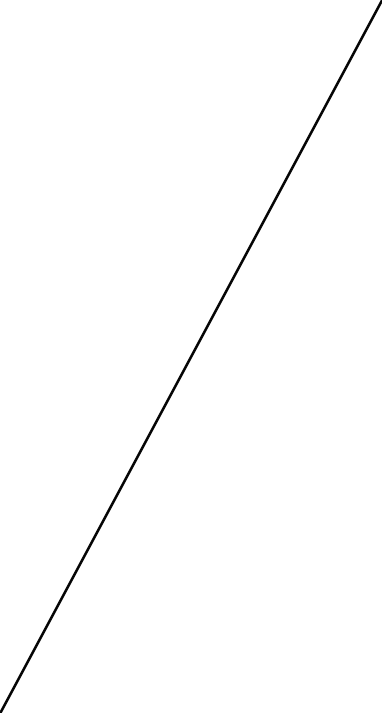
R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>38回の投稿を行った。 (令和5年12月から開始)</p>	<p>92回の投稿を行った。</p>	<p>97回の投稿を行った。</p>	<p>119回の投稿を行った。</p>	/

取組③ 国内外から観光客を呼び込むため、効果的なプロモーションを推進するとともに、観光客受入れ環境の充実を図る
(商業観光課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>パンフを約18,000部配布した。ところんの各種SNSで情報発信を実施した。ITF出展及び現地セールス等を行った。道標を設置し、周知等を行った。ガイド養成講座(実地研修、モニターツアー)を実施した。アンケートを580件回収した。道標に関するアンケートを実施した。</p>	<p>所沢市観光大使を8年目ぶりに新たに任命し、所沢の新たな魅力に気付いてもらう仕組みづくりを行った。一般財団法人自治体国際化協会(クリア)の事業を活用し、外国語観光ガイド養成を行った。ところんの各種SNSを活用してイベント情報や市内観光スポットの情報などを積極的に情報発信した。道標は委託事業者を決定し、設置場所の調査や板面の内容について委託事業者と調整した。</p>	<p>所沢市観光大使を3名任命し、所沢に興味を持ってもらうきっかけを作った。新規大使を任命したことで、ふるさと納税に影響をもたらす結果が生まれた。埼玉県物産観光協会のインバウンド事業において、KADOKAWA・YOT-TOKOを周遊するコースが選定され、台湾・米国・韓国・タイ市場に対してプロモーションを行うことができた。ところんX等のSNSアカウントにてイベント情報や市内観光スポットの発信をした。また、角川武蔵野ミュージアムで開催されたイラストレーター展「FR@GMENTS of THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS」で描かれた市内各地をところんが訪れ、先述した3つのInstagramアカウントにて共同投稿を行い周知した。</p>	<p>ガイドブックや道標のより効果的な活用を再検討し、ホームページやSNSと連動した媒体の作成を進めている。観光大使の活用やKADOKAWAとの連携も行い、より効果的に魅力発信ができるように進めている。市西部地区については現地調査によるルート開拓を進めている。</p>	

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>「ところざわまつり」は、一部イベントを除き、コロナ禍前とほぼ同規模で開催することができた。特に、伝統的な山車の運行が完全復活し、見どころとなる曳っかわせも行われ、約20万人の来場があった。</p>	<p>「ところざわまつり」は、昨年度から山車の運行も完全復活し、今年度については、『ふるさと所沢』を誇る、市民参加型のまつりの実施、「安心安全で持続可能な『まつり』を実施」を重点目的とし、開催に向けて準備を進めた。</p>	<p>「ところざわまつり」は、6年振りに民踊流しと子どもオープニングマーチを実施し、コロナ禍前の規模で開催することができた。また、パリ・パラリンピックに出場した選手や新たに観光大使に就任した坂巻有紗さんもパレードに参加し、約22万人の来場があった。</p>	<p>令和8年度の「将棋の日」イベント開催に向けて、日本将棋連盟との調整を進めるとともに、前年開催自治体(渋谷区)を視察した。公益財団法人 角川文化振興財団が主催する日中国際アニメ映画祭(令和8年5月28日～31日開催)について、アドバイザーボード・メンバーに就任した市長が、記者発表会(令和7年7月11日)に出席した。具体的な取組については映画祭事務局と調整を進めた。令和8年4月の「所沢航空発祥祭」開催のため令和7年8月に実行委員会が立ち上がり、本市が事務局となり開催を支援することとなった。JAXA、国際航空専門学校をはじめとした航空関連団体や市内の事業者の協力が決まり、開催日を令和8年4月5日に決定し、準備を進めた。「ところざわまつり」は、10年振りの大祭となり、2日間開催となるため、前日祭及び本祭の開催に向けた準備を進めた。</p>	

38 地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用

R5	R6	R7
実施中		

取組① 地域通貨導入に関する可能性を検討する(経営企画課、産業振興課、商業観光課)

R5	R6	R7
実施中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
第3回地域通貨導入委員会にて地域通貨導入に係る検討を進めた。事業者や他市町村への情報収集を行った。	事業者や他市町村への情報収集を行った。	地域通貨導入による事業費の削減効果を把握するため、令和7年3月に全庁的に可能性調査を行った。導入コストや運営コストと比較した結果、現時点では費用対効果は低く実施は困難と判断した。	補助金を活用した財源の研究や事業者や他市町村に対する情報収集を継続して行った。	/

取組② 市政へのブロックチェーンの導入可能性を検討し、導入に係る技術的な支援を行う(デジタル戦略課)

R5	R6	R7
検討中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
ブロックチェーン技術の特性など、基礎知識を収集を行った。実証実験などの記録が公開されている事例を調査し、分類した。	他自治体事例の情報収集を行った。	他自治体事例の情報収集を行い、経営企画課と連携して検討を進めた。	他自治体事例の情報収集を行った。	/

取組① 基本協定締結校等と連携・協力し、協働によるまちづくりを推進する(経営企画課)

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>早稲田大学研究室の実証実験2件について庁内との調整を図った。うち1件(下水サーベランス)が実施に至った。 市職員が早稲田大学人間総合研究センターに登壇した。 社会実装を目指した実証事業構想の新たな提案について調整対話を行った。</p>	<p>早稲田大学の研究・取組みについて紹介するため、市民ホールにて研究室単位のパネル展示を実施した。 早稲田大学からの新たな連携提案について対話・調整を行った。</p>	<p>自転車を活用した地域活性化やこどもの交通安全教育における連携可能性について打ち合わせを行った。 「全国都市改善改革実践事例発表会in所沢」で教授に審査員を担っていただいた。</p>	<p>令和7年6月14日に市長が早稲田大学の「所沢稲門会 創立100周年記念シンポジウム」に登壇し、地域と大学の連携強化に向けて意見交換を行った。 前年度に続き、早稲田大学の研究・取組みについて紹介するため、パネル展示を市民ホールにて実施した。 同学の陸上競技場を使い、陸上競技の体験イベントを実施した。 同学とともに、スペインの伝統行事「人間の塔」の、その文化を知り、体験するワークショップを市民ホールにて実施した。 官(市)・学(早稲田大学)・民(西武鉄道)が連携し、早稲田大学所沢キャンパス祭の前月祭「Tokorozawa Collaboration Autumn Fes」を開催し、市として「まちなかコンサート mini September 2025」を実施した。</p>	/

40 国立障害者リハビリテーションセンターとの協力・連携強化

R5 R6 R7
実施中

取組① 国立障害者リハビリテーションセンターと協力・連携し、福祉の増進に努める(障害福祉課、こども福祉課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>障害者週間イベントへのパネル、資料の出展を受けた。「国リハコレクション」に関連したパネル展示や障害のある方のニーズに応じた衣服の紹介があった。 市長が国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会委員へ就任し、参加した。 所管部署にて国立障害者リハビリテーションセンターへ訪問し、連携について協議を行った。 障害児支援業務における情報提供、ケースカンファレンス開催などの連携を行った。</p>	<p>令和6年12月に開催する障害者週間イベント「障害者作品展」への展示等を企画し、国立障害者リハビリテーションセンターの担当者に連絡をとった。 企画内容を説明し、調整の上、福祉機器の展示等の協力を得られることになった。 障害児福祉における支援業務に関する情報提供などの連携を行った。</p>	<p>国立障害者リハビリテーションセンターと協力し、令和6年12月2日～12月9日開催の障害者週間記念事業「障害者作品展」の周知を行うとともに、パネル展示等の出展があり、障害に関する周知・啓発を行うことができた。更に、国立障害者リハビリテーション主催の「リハ並木祭」へ、デフリンピックの周知のポスターを掲示することができた。 障害児福祉における支援業務に関する情報提供などの連携を行った。自立支援協議会こども部会にて国立リハビリテーションセンター病院の職員が講師を務めた。 国立リハビリテーションセンターの多職種連携短期特別研修事務局の会議に参加した。</p>	<p>所沢市自立支援協議会委員の改選時期であったため、国立障害者リハビリテーションセンター秩父学園から所沢市自立支援協議会委員を選出していただき、その委員の方と自立支援協議会こども部会にて連携体制の強化を図った。 下半期に開催予定の『リハ並木祭』(令和7年10月4日開催)への初参加に向け、市立障害者施設による作品展示・販売会や、スポーツウェルネス吹矢体験会実施のため調整を行った。 障害児福祉における支援業務に関する情報提供などの連携を行った。</p>	

41 西武鉄道、埼玉西武ライオンズとの協力・連携強化

R5 R6 R7
実施中

取組① 西武グループ3社(株式会社西武ホールディングス、西武鉄道株式会社、株式会社西武リアルティソリューションズ)との包括連携協定にもとづき連携・協力を図り、協働によるまちづくりを推進する(経営企画課、商業観光課)

R5 R6 R7
実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>市主催の市内回遊性創出イベント「TOKOROZAWA DESIGN WALK」において、西武鉄道との連携によりデジタルスタンプラリーを実施した。 グランドデザインフォーラム、ネイチャーポジティブ共同宣言、ライオンズ緑の寄附金、所沢駅モノクロアート、担当者定期ミーティング等の実施によりさらなる連携を進めた。</p>	<p>PIAZZAおよび西武鉄道と協力してイベント情報のオンライン発信を開始した。 包括連携協定に基づく定期ミーティングを実施した。</p>	<p>西武鉄道と、毎年全国で開催されている高校生を対象としたダンス大会「ダンススタジアム」の実施に向けた調整を行った。 協働による沿線価値向上に向けて、西武鉄道と市関係課(こども政策課、都市計画課、経営企画課)にて意見交換を行った。 「全国都市改善改革実践事例発表会in所沢」で西武鉄道執行役員に審査員を担っていただいた。 埼玉西武ライオンズとの連携事業として、狭山丘陵での植樹イベントのほか、市長が「埼玉西武ライオンズ感謝の集い」に出席し、地域と埼玉西武ライオンズとの更なる連携強化について意見交換を行った。 西武鉄道とのインバウンドミーティングにおいて、定期的に意見交換を行った。</p>	<p>西武鉄道の協力のもと、所沢駅構内において「子ども写生大会」の入賞作品の展示や、まちなかコンサートを実施した。 官(市)・学(早稲田大学)・民(西武鉄道)が連携し、早稲田大学所沢キャンパス祭の前月祭「Tokorozawa Collaboration Autumn Fes」を開催し、市として「まちなかコンサート mini September 2025」を実施した。 令和8年3月に予定されている「ダンススタジアム」については、所沢開催に向けて引き続き西武鉄道と調整を行った。 また、西武沿線サミット事業の一環で、鉄道や埼玉西武ライオンズと連携し、「西武線沿線サミットデー」の実施と、「武蔵野鉄道110周年トレイン」実施に向けた調整を行った。</p>	

取組② 「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定」(フレンドリーシティ)を通じ、互いの資源を活かして協働事業に取り組むことにより、地域の活性化を図る(商業観光課、健康管理課、スポーツ振興課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>全所属に来年度フレンドリーシティプログラムの照会をした。来年度に向けて、広報連載及び職員のコラボユニフォーム(ポロシャツ)について、埼玉西武ライオンズと調整を行った。</p>	<p>職員向けのコラボユニフォーム(ポロシャツ)を全庁に配布(2000枚)し、令和6年4月のホーム開幕戦には同時に着用できるよう市内インフォメーション等でアナウンスした。広報ところざわの記事連載を行い、市民に埼玉西武ライオンズに興味を惹く取組を行った。西武鉄道・埼玉西武ライオンズの担当者とは、定期的に意見交換や相互に事業の提案を行い、連携の体制を整えた。</p>	<p>上半期に引き続き、広報ところざわで連載を行い、市民に興味を持ってもらうきっかけを作った。埼玉西武ライオンズで長きに渡り活躍された3選手の引退展を市民ホールで開催し、ファンを始めとして多くの方にご来場していただいた。第35回所沢シティマラソン大会の参加賞として、埼玉西武ライオンズとのコラボTシャツを作成した。</p>	<p>観光大使の皆様(オードリー春日さん、坂巻有紗さん、さいたまブロンコス今池選手、JAY'S GARDEN)にご協力いただき、所沢市×ライオンズ75周年記念動画を作成し、ところざわのSNS等で発信したほか、埼玉西武ライオンズのフレンドリーシティ感謝デーでは、市のPR等を行うことができた。埼玉西武ライオンズとの連携事業として、「ライオンズ ピンクリボンキャンペーン2025」において乳がん検診の早期受診を推進した。</p>	/

42 地下鉄大江戸線の東所沢までの延伸

R5 R6 R7


取組① 都市高速鉄道12号線の延伸に向けた活動を行う(都市計画課)

R5 R6 R7


令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>都市高速鉄道12号線延伸促進協議会の一員として、市長が東京都知事及び埼玉県知事に対して、早期の整備着手に係る要望書の提出を行った。</p>	<p>都市高速鉄道12号線延伸促進協議会による今年度の要望活動等について関連市区等と調整を行った。</p>	<p>都市高速鉄道12号線延伸促進協議会の一員として、市長が東京都知事及び埼玉県知事に対して、早期の整備着手に係る要望書の提出を行った。</p>	<p>都市高速鉄道12号線延伸促進協議会による今年度の要望活動等について関連市区等と調整を行った。</p>	/

43 西所沢駅西口改札口開設

R5 R6 R7

実施中

取組① 西所沢駅西口開設整備計画に基づき、早期実現に向けて取り組む(防犯交通安全課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
西武鉄道株式会社と協議を行い、「西武鉄道池袋線西所沢駅における西口改札口の開設等に関する基本設計協定書」に基づき、基本設計の作成に取り組み始めた。	基本設計協定に基づき、履行期間内(令和6年12月25日まで)の基本設計の完成を目指し、西武鉄道と協議を進めた。ほか、接道する市道の交通規制について警察と具体的な協議を始めた。また、並行して関係部署への庁内調整等を行った。	令和6年12月25日に基本設計が完成したことから、西武鉄道株式会社と協議を行い、令和7年2月17日に「西武鉄道池袋線西所沢駅における西口改札口の開設等に関する実施設計協定書」を締結し、実施設計の作成に取り組み始めたほか、県道拡幅の用地買収を行った。	実施設計協定に基づき、履行期間内(令和8年3月31日まで)の実施設計の完成を目指し、西武鉄道と協議を継続し、既存駅舎の基礎の確認、県道の拡幅、転回広場工事を行った。また、並行して、警察、県、庁内関係部署と調整を行った。	

44 所沢市民文化センターミューズの活用拡大 音楽の聖地化計画

R5 R6 R7

実施中

取組① 指定管理者及び維持管理事業者と連携しながら施設運営及び計画的な施設修繕を行い、音楽をはじめとした多彩な文化芸術を楽しめる場を提供する(文化芸術振興課)

R5 R6 R7

実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
開館30周年を記念した感謝祭や特別企画を実施した。また、大ホール5階センターピン室空調設備修繕を完了した。引き続きその他の不具合箇所について、次年度以降修繕を行っていく。	伝統芸能に触れる参加型事業や、子どもをターゲットにした公演等、幅広い世代に向けた事業を実施した。また、今後の改修について、庁内関係部署と協議を行うとともに、指定管理者・PFI事業者との協議を基に、改修箇所を特定するための劣化診断調査を開始した。	6年ぶりに、0歳から聴けるオルガンコンサートを開催したほか、国内外のトップオーケストラ6公演を開催するなど、充実した事業を実施した。また、令和6年度に予定していた修繕を完了したほか、劣化診断調査の結果を基に、庁内関係部署との調整会議を開催し、次期改修に向けたスケジュールや改修箇所の検討を行った。	初開催の公演や、チケットが完売する高い集客を誇る公演など、多彩な事業を実施した。また、庁内関係部署との調整を進め、次期改修の工事手法及び工期について再検討し、方向性を整理した。	

45 「新所沢パルコ」撤退問題に関する統括専門部署の設置

R5	R6	R7
達成中		

取組① 令和6年2月に営業を終了する「新所沢パルコ」撤退問題に関する統括専門部署の設置について検討を行う。(経営企画課)

R5	R6	R7
達成中		

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
	達成中			
専門部署の設置必要性の検討を行い、経営企画課を統括専門部署とすることとした。				

46 所沢市独自の保健所を設置

R5	R6	R7
		実施中

取組① 中核市への移行に向けて、市民を健康危機から守り、健幸長寿を支える拠点として、新たに保健所を設置する(保健医療課)※R6までは、「7 中核市に移行」として管理

R5	R6	R7
		実施中

令和5年度	令和6年度		令和7年度	
下半期(10月30日から)	上半期	下半期	上半期	下半期
<p>(三層の会議体からなる)庁内体制を構築するとともに、各会議体での役割分担を確認した。県より提供された川口市の中核市移行時資料をもとに各担当部署へ移譲事務に係る調査依頼を実施した。 (※P7「7 中核市に移行」再掲)</p>	<p>中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行の検討を進め、「中核市移行に関する調査報告書」をまとめた上で、令和12年4月に移行を目指すことを表明した。 また、保健所整備について情報収集、調査・検討を進め、建設予定地を生涯学習推進センターグラウンドとして対外的に発表し、建設に係る設置基本計画策定及び土地の調査の委託費用を予算化した。 移譲事務の調査については、次年度の県との調整に向けて、総務省の移譲事務に関する最新データ等を用いて、関係所属に現在の処理状況等を照会した。 (※P7「7 中核市に移行」再掲)</p>	<p>移譲事務の調査については、関係所属の照会結果を取りまとめ、令和7年4月以降の県との調整の準備を進めた。 また、中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行を円滑に進めるための基本的事項をまとめた「中核市移行に関する基本方針」を策定し、令和7年2月7日に公表した。令和7年3月28日には、その基本方針をもって、市長から県知事へ移行に向けた協力要請を行った。 保健所の設置に向けては、関係部による調整会議を中核市準備調整会議と並行して行い、保健所設置の各種条件等について合意形成を進めるとともに、建設用地の地歴調査委託を令和6年10月～令和7年1月にかけて実施し、土壌汚染のおそれなしという結果となった。 (※P7「7 中核市に移行」再掲)</p>	<p>第2回、第3回保健所設置検討委員会での審議を経た保健所設置基本計画(素案)についてパブリックコメントを実施した。 また、建設用地の測量・地質調査の委託契約を締結し、各業務を推進した。</p>	/